

最先端・次世代研究開発支援プログラム

プログラムの概要

- 1. 背景** 政権交代を契機として、平成21年度第1次補正予算における最先端研究開発支援プログラムの全体を見直し、第88回総合科学技術会議(平成22年2月3日)において本プログラムの創設を決定。
- 2. 目的**
 - ① 将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される若手・女性・地域の研究者への研究支援。
 - ② 「新成長戦略」に掲げられたグリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションの推進。
- 3. 内容**
 - ① 自己の責任において主体的に研究開発を進めることが可能な若手研究者又は女性研究者を対象。
 - ② 各都道府県から最低1件採択することとし、また、地域の特色を活かした提案を優先的に採択。
 - ③ 女性研究者の割合は30%を目標。
 - ④ グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションを対象主題とし、人文・社会科学的側面からの取組を含め、挑戦的な研究課題を幅広く対象。

選定プロセス

- 1. 次世代プログラム運営会議による詳細事項の決定(平成22年3月15日)**
 - 本会議における運用基本方針決定後、審査の観点、公表事項、経費の執行規則等を決定。
- 2. (独)日本学術振興会による公募・審査(平成22年4月5日～10月21日)**
 - 4月5日から5月20日まで公募を実施。応募件数は5,618件。女性研究者の割合は28%。
 - 外部専門家281名による分野横断的な審査体制を構築し、書面審査及びヒアリング審査を実施。
 - 次世代プログラム運営会議に対し、10月21日に審査結果を報告。
- 3. 次世代プログラム運営会議による研究者・研究課題決定案の作成(平成22年10月28日～平成23年2月3日)**
 - 審査結果が上位の提案を中心として、女性研究者及び地域の研究者を優先しつつ選定。
 - 研究者・研究課題決定案として取りまとめ、総合科学技術会議に提出。
 - 件数は330件*。全ての都道府県からの提案が含まれるように選定。女性研究者の割合は25%。
- 4. 総合科学技術会議による研究者・研究課題の決定**
 - 決定後、予算を所管する文部科学大臣に対して意見具申。

※ 総合科学技術会議による決定前に1件の申請の取り下げを受理

最先端・次世代研究開発支援プログラムの進め方

